

フードロスをなくせ!いちごスイーツプロジェクト ~規格外いちご「かおり野」を使用したお菓子のプロデュース~

~「かおり野」いちごを贅沢に使ったスイーツ開発~

「フードロスをなくせ!いちごスイーツプロジェクト」は、JA伊勢(さん)と協力し、規格外の「かおり野」いちごを使用したスイーツの開発~販売までを行うことを目的としています。今年度は、委託販売を最終目標とし、度会町の「こじか堂」(さん)全面協力のもと「いちごマフィン」を制作し、販売しました。

メンバー数 : 8名
活動場所 : 伊勢市
実施主体 : 伊勢農業協同組合 (JA伊勢)
担当教員 : 池山 敦 (教育開発センター)
活動年度 : R05, R06, R07



1年の活動まとめ・考察 (成果と課題)

6月にJA伊勢(さん)とのミーティングが行われ、今年度の活動が本格的にスタートした。今年は8人のメンバーが集まり、8人の内5人が新規メンバーであった。学部や学年が異なるメンバーでの交流は難しいと感じる場面も多々あったが、LINEでのメッセージのやり取りや空きコマを利用し、話し合う場を積極的に設けた。今年度の目標は、12月6日に行われたJAフェスタみんなの大相談会でのいちごスイーツ販売と地域の業者の方との業者販売であった。スイーツ開発をする上で、よりかおり野いちごの存在感を感じることに出来る満足感があるもの、様々な年代の方々に楽しんでいただける様ないちごスイーツにすることを意識した。また、大量生産と屋外での販売を行う上で、作成工程や衛生面も考慮した。ミーティングを何回も重ねた結果、今年度はいちごクリームをサンドしたココア風味のビスケットを使用したいちごマフィンを作成することに決定した。ビスケットが入っていることで、より食べ応えのあるマフィンに仕上げることが出来た。マフィンの中には果肉感のあるいちごジャムを入れ、表面にドライいちごとピンクのアイシングソースをトッピングし、見た目も楽しめる商品が完成した。

そして12月6日に行われたJAフェスタみんなの大相談会では、目標売り上げ数200個を売り上げ、開始2時間で全て完売することが出来た。12月26日・1月23日には、いちごマフィンを作成するにあたりご協力頂いたこじか堂(さん)での店舗販売も行われた。

課題として、学生間での協力や情報共有の徹底が挙げられる。本来学生が行うべきだったものもJA伊勢(さん)とこじか堂(さん)に行って頂いた点や情報共有が行われていなかった点がある。メンバーの学部や学年が異なるため時間を作ることは難しいことだが、外部の方々にご迷惑をかけてしまう場面も多々見受けられた。来年度は、これらの点を改善するべきであるとする。

活動を通して学んだこと

一つの商品を作り上げることの難しさを学ぶことができました。商品完成に至るまで、何回もミーティングを重ねてきました。また、メンバーやJA伊勢(さん)とのミーティングをする上で、「報告・連絡・相談」の重要性を学ぶことができました。

実施主体からのコメント

JA伊勢経営企画部くらしの活動推進課 ご担当者様

この度は、学生の皆さんといちごのフードロス問題をテーマにしたプロジェクトに取り組む機会を持たれたことを、大変ありがたく思っています。収穫から選果、加工、商品企画、製造まで、農業現場のさまざまな工程を体験していただくことで、実際の課題やそれに対する対策について深く理解していただけたのではないのでしょうか。就職活動や教育実習、授業などで忙しい中、チーム一丸となって協力し、柔軟にスケジュール調整をしながら積極的に活動される学生の皆さんの姿は非常に印象的でした。また、情報共有や意思決定の場面では、コミュニケーションの大切さやリーダーシップの必要性も学ばれていたことと思います。

JA伊勢は、営農から加工、販売、そして地域貢献まで幅広い分野で事業を展開している総合事業体です。その特性を活かし、今後もこうした実践的な学びの場を提供し続けていきたいと考えています。今後さらに多くの方々に活動へ参加いただき、ともに新しい価値や発見を生み出していることを期待しています。



月別活動

- 5月 ビニールハウスでの見学・いちごの収穫・パック詰め体験
- 6月 プロジェクトスタート・ミーティング
- 7月 レシピ考案・意見交換
- 8月 試作
- 9月 ミーティング・委託業者決定
- 10月 試作品の試食
- 11月 試食・商品決定・ZTVの取材
- 12月 JAフェスタみんなの大相談会での商品販売・店舗での商品販売
- 1月 店舗での商品販売
- 2月 みえまちキャンパス発表
- 3月 CLL活動報告会

担当教員より

教育開発センター 池山 敦

地域資源であるいちごの規格外品を使い、商品開発から完売までこぎつけたことは非常に評価できます。今年度は特に学外の事業者さんと一緒にできたことは今後の連携も期待が持てると思います。事業者さんとのやり取りの中で、より実社会に近い学びがあったのではないのでしょうか。一方で、外部連携における報告・連絡・相談(ホウレンソウ)の不足が課題として挙げられました。この点も学びとして、今後の活動に活かしてほしいと思います。1年間お疲れ様でした。

こんな人におすすめ!

- ・ 苺が大好きな方、スイーツを食べること、作ることが好きな方
- ・ 地域の方や企業の方との交流を深めたい方
- ・ 地域活性化に興味がある方

成果物 / 制作物



JA伊勢×皇学館大学生×こじか堂
フードロスをなくせ!いちごスイーツプロジェクト